



平和への誓いを新たに

9月5日(土)、志波姫この花さくや姫プラザで「栗原市戦没者追悼式」を挙行し、戦没者の遺族や関係者など約200人が参列しました。

式典では、黙とうの後、佐藤智市長が「二度と同じ過ちを繰り返さぬよう、過去を謙虚に振り返り戦争の教訓を風化させることなく、戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを次の世代に継承していくことが、私たちに課せられた責務」と式辞を述べ、平和への誓いを新たにしました。また、参列者全員で献花し、戦没者を悼みました。



国際的な観光賞で金賞

8月25日(火)、一般社団法人くりはらツーリズムネットワークが「レスポンシブル・ツーリズム・アワード・ワールドワイド2026」の文化的多様性の擁護部門で金賞を受賞しました。同法人は、2010年から地域の暮らしを生かした体験を続け、住民が自らの言葉で文化を語り、地域の誇りや文化の継承につなげている点が高く評価されました。

代表理事の大場寿樹さんは「長年の活動が国際的に評価され感慨深い」と喜びを語りました。



曽根さんが相撲で全国3位

8月9日(日)、東京都墨田区の両国国技館で開催された「第37回全国都道府県中学生相撲選手権大会」で、栗駒中学校3年の曽根絢斗さん(築館駅前)が個人軽量級で第3位に入賞しました。

曽根さんは「全国の強豪選手と対戦できることが楽しみでした。両国国技館の土俵の上に立ったとき、とても緊張しましたが、顧問の先生のアドバイスを受け、落ち着いて取組ができました。第3位入賞は、うれしいです」と語り、喜びをにじませました。



白鳥さんが空手で全国3位

8月1日(土)から2日(日)にかけて、利府町のセキスイハイムスーパーアリーナで「第68回小学生・中学生全国空手道選手権大会」が開催され、116人が出場した小学3年生女子組手の部で、築館小学校3年の白鳥世来さん(築館上町)が第3位に入賞しました。

白鳥さんは「あと一歩のところまで優勝を逃し、とても悔しい思いをしました。この悔しさをバネに、来年は絶対に優勝できるよう稽古に励みます」と力強く意気込みを語りました。



市内6つの酒蔵をPR

9月12日(土)、くりこま高原駅東側ロータリースペースで「くりはらマルシェ2026」が開催されました。

この催しは、県の宿泊税を活用した「くりはら秋の蔵開き」の一環として、くりはら酒フェスティバル実行委員会が初開催したものです。

当日は、市内の地酒をPRしようと、試飲や販売が行われた他、ミニ新幹線乗車コーナーも人気を集め、会場を訪れた約1500人の家族連れが、栗原の魅力を満喫していました。



みんなで楽しむ運動会

9月6日(日)、一迫地区の旧金田小学校校庭で「第76回金田地区市民大運動会」が開催されました。

地域の子どもから高齢者まで、約150人が集まり、4チーム対抗で勝利を目指しました。玉入れ競争など、年齢に関係なく誰でも参加できる競技が多い中、パン食い競争は、子どもに大人気で、多くの声援が送られました。また、参加者は秋の心地良い風を感じながら競技に取り組み、会場には多くの笑顔があふれていました。



華やかなダンスで会場を魅了

8月30日(日)、若柳ドリーム・パルで「ダンスフェスティバル2026」を開催しました。

市内外から15団体が出場し、子どもから大人までの約300人が、すずめ踊りやストリートダンス、よさこいなど、さまざまなダンスを披露しました。

会場には、500人を超える観客が詰めかけ、満席になるほどの盛り上がりを見せ、出演者は、表情豊かなパフォーマンスで観客を魅了しました。また、観客から大きな拍手と声援が送られました。



大会新記録続出に驚き

8月22日(土)、築館陸上競技場で「第22回栗原市陸上競技選手権大会」が開催されました。

この大会は、さまざまな運動の基本になる「走る」を強化し、運動能力の向上を目的に、栗原市陸上競技協会が主催したものです。

当日は、小学1年生から成人まで約70人が出場し、100m走や走幅跳びなど19競技で記録を競いました。また、小学1・3年女子100mなど3競技で大会新記録が飛び出し、ハイレベルな競技展開に多くの観客が見入りました。